

令和 3 年度富里市観光振興アクションプラン意見書(案)

観光振興アクションプラン 評価基準

5	・ 目的達成のための事業が、十分実施されており、改善の必要性がない。 ・ 非常に効果が高く、継続することに何の問題もない事業である。
4	・ 目的達成のための事業が、十分実施されており、改善の必要性が低い。 ・ 効果が高く、継続すべき事業である。
3 標準	・ 目的達成のための事業が、実施されている。 ・ 効果があり、継続した方が良い事業である。
2	・ 目的達成のための事業が不十分であり、拡大が必要である。 ・ 効果を高めるための工夫が必要な事業である。
1	・ 目的達成のため、事業の再検討が必要である。 ・ 効果があまり見込めないため、整理統合・規模縮小・廃止等の検討が必要である。

観光振興のための基本戦略	目的	委 員 平均評価	コメント	今後の取り組み
基本戦略1 観光プロモーション活動の強化				
1) 観光プロモーション活動の充実				
①物産展などを通じた富里の魅力発信の充実	観光客を誘致するために、富里を知ってもらい関心をもってもらおうよう、近隣はもとより県外においても積極的にプロモーション活動を実施します。	3.64 (3.82) 0.18 ↓	順調	継続的に事業を実施していくこと。
②ロケ地を活用した新たな観光PRの充実	町並みや自然風景などを通じて富里市を広くPRするため、映画、ドラマ、CMなどの撮影を誘致します。	3.73 (4.00) 0.27 ↓	順調	継続的に事業を実施していくこと。
③市マスコットキャラクターの活用	市マスコットキャラクター「とみちゃん」を通じて富里が認知されるようなPRをします。	3.91 (3.27) 0.64 ↑	順調	継続的に事業を実施していくこと。
2) 情報発信の充実・工夫				
①観光情報の充実・工夫	より多くの人に情報を届け、富里市に関心を持つ人を増やすため、効果的な情報発信を実施します。	3.55 (3.91) 0.36 ↓	順調	継続的に事業を実施していくこと。
②SNS を活用した情報発信の充実	観光情報の媒体としてSNS を効果的に活用し、富里市に関心を持ってもらえるような情報発信をします。	3.55 (3.73) 0.18 ↓	順調	継続的に事業を実施していくこと。
基本戦略2 新たな観光資源の創出				
1) 観光イベントの充実				
①観光イベントの開催	観光イベントを開催し、年間を通じて富里へ訪れてもらう機会を提供します。	3.09 (3.09) 0.00 →	順調	継続的に事業を実施していくこと。
②市民主体で実施するイベントなどへの支援	市内で年間を通じて様々なイベントが実施されるよう市民の自発的な活動を支援します。	2.91 (3.18) 0.27 ↓	やや不十分	効果を高めるための工夫が必要である。
2) 富里ブランドの創造				
①商品の開発	富里市を印象づけることができる商品を開発し、販売につなげることで富里市をPRします。	3.64 (3.27) 0.37 ↑	順調	継続的に事業を実施していくこと。
②ふるさと産品推奨品の充実	富里市内で生産される農畜産物などを加工した商品及び富里市内で製造される商品で富里市をイメージできるものを「富里市ふるさと産品」として推奨し、地場産商品を通じて富里市をPRします。	3.64 (3.27) 0.37 ↑	順調	継続的に事業を実施していくこと。
3) インバウンド向け資源の創出・ブラッシュアップ				
①旧岩崎家末廣別邸及び隣接地の活用	成田空港に近い地理的利便性を活用し、国内のみならず海外からの来訪者を増やすため、末廣農場跡地に存する国登録有形文化財「旧岩崎家末廣別邸」を核とした教育・文化・観光・産業の一体化によるまちづくりを進めます。	3.64 (3.64) 0.00 →	順調	継続的に事業を実施していくこと。

②富里観光ルートの検討	富里市に滞在して様々な場所に訪れてもらえるよう、富里市内及び富里市周辺観光スポットを含めた観光ルートを提供するための検討を行います。	2.91 (3.09) 0.18 ↓	やや不十分	効果を高めるための工夫が必要である。
基本戦略3 広域連携の推進				
1) 県・北総地域・成田空港周辺自治体との連携の推進				
①観光推進を目的とした各種協議会などへの参加	県単位やエリア単位での観光推進を図る協議会などへ参加することで、富里市をPRする機会を確保します。	3.27 (3.18) 0.09 ↑	順調	継続的に事業を実施していくこと。
②成田空港圏自治体連絡協議会への参加	成田空港圏の振興などに係わる連絡調整に関する取組を行う協議会へ参加します。	3.27 (3.36) 0.09 ↓	順調	継続的に事業を実施していくこと。
2) 旧岩崎家末廣別邸を生かした連携の促進				
①岩崎家ゆかりの地広域連携の仕組づくり	三菱グループ第三代社長の岩崎久彌氏ゆかりの地相互の連携を通じて文化観光振興による地域活性化を目指します。	3.82 (3.36) 0.46 ↑	順調	継続的に事業を実施していくこと。
基本戦略4 受け入れ態勢の整備				
1) 訪れやすい・歩きやすい環境整備				
①観光拠点の設置	富里市を訪れた際に最初に立ち寄ることのできる観光拠点を設置します。	3.73 (3.64) 0.09 ↑	順調	継続的に事業を実施していくこと。
②観光案内板・インターネット環境などの整備	市内の観光スポットへの誘導、観光スポットの説明などの情報を得られる環境をつくります。	3.36 (3.27) 0.09 ↑	順調	継続的に事業を実施していくこと。
2) 観光人材の充実・連携				
①観光人材の発掘・育成	総合計画に掲げる「地域力でもてなす観光」を実現するため、富里の情報に通じた観光人材を育成します。	3.09 (3.18) 0.09 ↓	順調	継続的に事業を実施していくこと。
②市民・事業者などとの連携	市、観光協会、市民、事業者などが連携し、地域の魅力の発信と観光客を受け入れる取組を進めます。	3.27 (3.36) 0.09 ↓	順調	継続的に事業を実施していくこと。
③観光に関わる取組を行う団体に対する支援	市の観光振興と発展を図るため、市観光協会の各種事業経費の一部を支援します。 また、市の観光に関わる取組を行う団体の活動が継続できるよう支援します。	3.27 (3.27) 0.00 →	順調	継続的に事業を実施していくこと。